岩盤ボーリング柱状図

調査名　鞆松永線道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

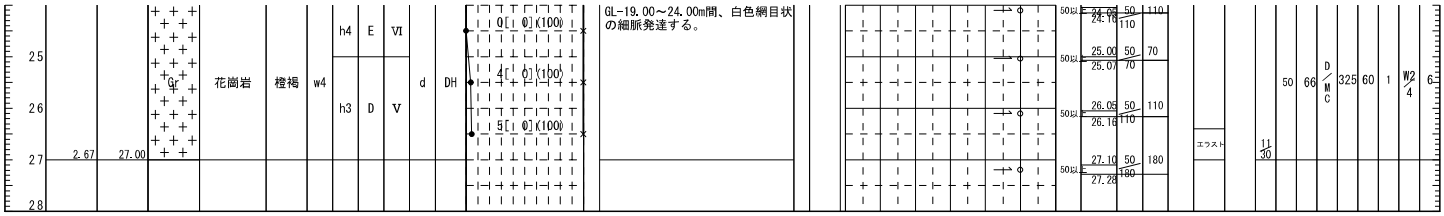
調査目的及び調査対象　道路　トンネル・地下空洞

ボーリング名	Boring No.6	調査位置	No.3+17.58 CL	北緯	34° 23' 49.3225"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和元年11月18日～ 令和元年12月 2日	東経	133° 22' 42.1192"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 29.67m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	27.00m	地盤勾配	12° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM製YSO-1型 / エンジン：ヤンマー(株)製TF120V-E型 / ポンプ：ワイビーエム製 SP-40型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事	孔内水位／測定月日	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
1				礫混じり砂	黒茶							土石流堆積物。0.00m～0.20m間表土層。植物根混入する。砂は細砂～粗砂混在し礫3～40mm程度の角礫が主体となる。局所的な礫密集部認められる。	11/21 1.75											
2					淡茶褐								2.40				150							
3													11/22 3.25 / 11/30 3.90		3.15 物理一次 3.45	11/19								
4	25.67	4.00										GL-4.00m以深、粘土含有率若干上昇。礫3～20mm程度の角礫～亜角礫混じる。砂は細砂～粗砂が主体となり局部的にシルト混じる。70～80mm程度の礫点在部分的に粘土多く含む箇所あり。GL-5.00m付近含水高くなる。	孔口泥・(土石流堆積物)											
5				礫混じりシルト質砂	茶褐～淡茶褐																			
6																	120							
7																								
8																11/20								
9	19.97	9.70			青灰～淡青灰												100							
10				シルト混じり砂礫								GL-9.70m以深、固結度高くなる。礫は3～30mmの角礫～亜角礫が主体となる。砂は細砂～粗砂。部分的にな礫密集部認められる。												
11												GL-10.85～11.00m玉石棒状。礫は弱風化が認められる。			11.15 物理一次 11.31	11/21		66／ケーシング	打込み／打込みシュー	250	100	2	W2/9	9
12					茶褐～暗茶褐												100			300	110	2	W2/9	8
13												GL-13.00m以深、礫は3～30mmの角礫～亜角礫主体となる。局部的に5～10cm程度の棒状及び岩片状混じる。局部的な礫密集帯認められる。部分的に少量の漏水箇所あり。				11/22								
14																	70			300	100	1	W2/9	7
15												GL-15.00m以深、礫の含有率上昇する。φ50～100mmの角礫主体となる。礫種は堆積岩～火成岩と雑多である。				11/25								
16																	70			250	105	1	W2/9	9
17	11.97	17.70																						
18				花崗岩	橙	w4	h4	D	V	d	DM	中生代白亜紀の花崗岩。風化の進行が著しく砂状～礫状コア主体で採取される。等粒状細粒。局部的に少量の漏水箇所認められる。				11/26								
19													白亜泥・(花崗岩類)				70			275	100	1	W2/8	7
20																			D／MC					
21											DH			エラスト		11/28				300	85	1	W2/6	5
22					橙褐			E	VI								50			350	70	1	W2/8	7
23																								
24																11/29								

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
33	1.15 / 1.45	33 / 300		
33	2.15 / 2.45	33 / 300		
23	3.15 / 3.45	23 / 300		
26	4.15 / 4.45	26 / 300		
21	5.15 / 5.45	21 / 300		
5	6.15 / 6.45	5 / 300		
39	7.15 / 7.45	39 / 300		
50以上	8.15 / 8.41	50 / 260	260	
32	9.15 / 9.45	32 / 300		
50以上	10.15 / 10.38	50 / 230	230	
50以上	11.15 / 11.37	50 / 220	220	
50以上	12.15 / 12.40	50 / 250	250	
50以上	13.15 / 13.33	50 / 180	180	
50以上	14.15 / 14.25	50 / 150	150	
50以上	15.15 / 15.31	50 / 160	160	
50以上	16.15 / 16.20	50 / 50	50	
50以上	17.15 / 17.40	50 / 250	250	
50以上	18.15 / 18.30	50 / 150	150	
50以上	19.15 / 19.26	50 / 110	110	
50以上	20.15 / 20.26	50 / 110	110	
50以上	21.10 / 21.22	50 / 120	120	
50以上	22.10 / 22.27	50 / 170	170	
50以上	23.05 / 23.15	50 / 100	100	


25
26
27
28
2.67
27.00
Gr
花崗岩
橙褐
w4
h4
E
Ⅵ
h3
D
Ⅴ
d
DH
0[0](100)
4[0](100)
5[0](100)
GL-19.00～24.00m間、白色網目状の細脈発達する。
50以上
24.05
24.16
25.00
25.07
26.05
26.16
27.10
27.22
50
110
70
180
エフスト
11/30
50
66
D/MC
325
60
1
W2/4
6